

秩父市セーフコミュニティ 自殺予防対策委員会活動報告



報告者 副委員長：内田 明夫
所 属：秩父商工会議所

第1章

自殺予防対策委員会 設置の背景

背景①

なぜ自殺対策の組織が編成されたか？

それは、新聞記事から始まった…

2008年(平成20年)9月20日

朝日新聞の報道

・自殺傾向「北高南低」

・秩父保健所管内

(秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・小鹿野町)

SMR : 1.26

(埼玉県平均の1.26倍)



背景②

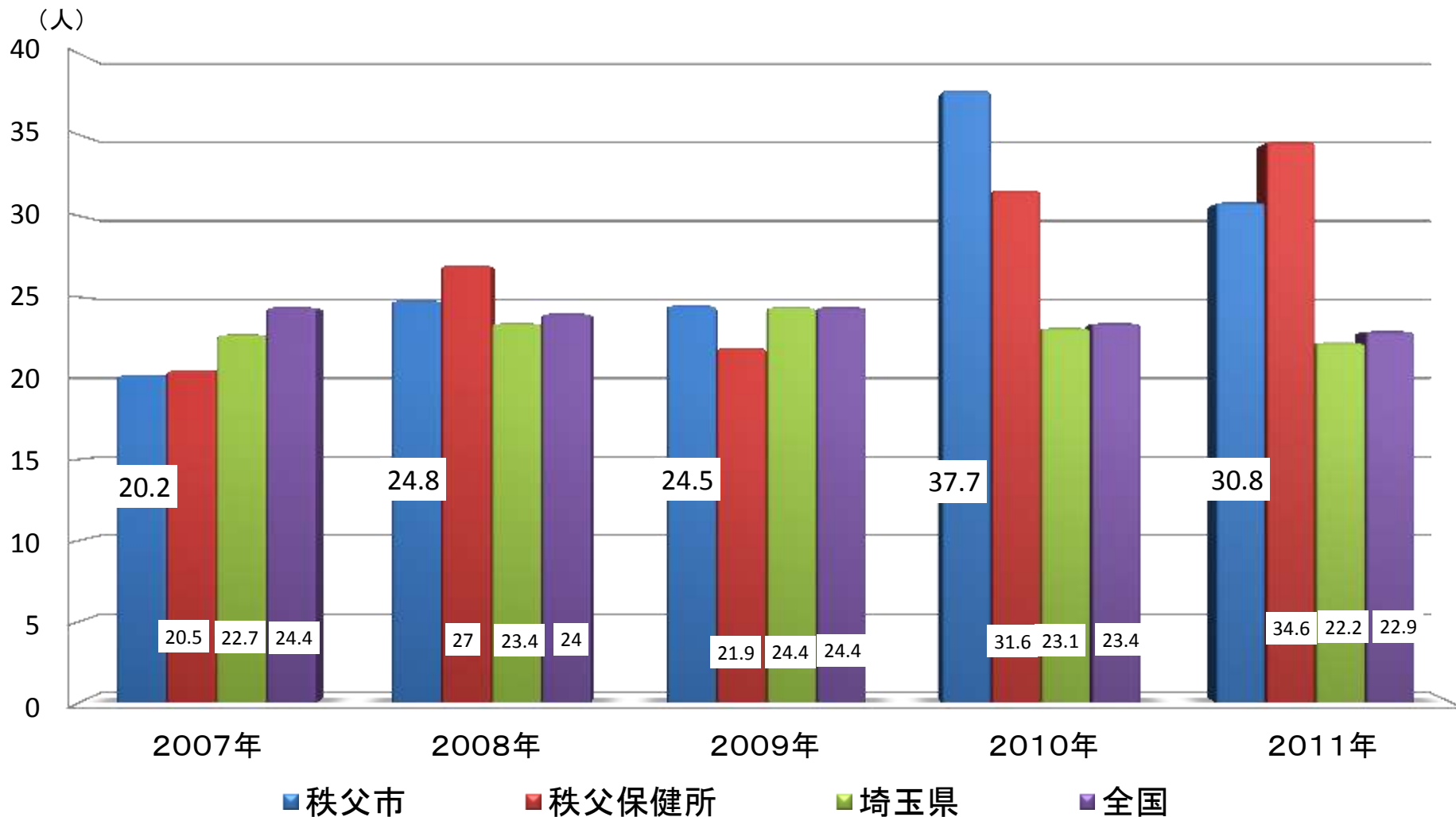
年代別死亡順位

単位：人

	0～4	5～14	15～24	25～44	45～64	65～	総数
1	先天奇形、変形 及び染色体異常	不慮の事故	自殺	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物	悪性新生物
	4	2	6	22	177	945	1147
2	不慮の事故		不慮の事故	自殺	心疾患（高血 圧性を除く）	心疾患（高血 圧性を除く）	心疾患（高血 圧性を除く）
	2		5	21	58	613	680
3	周産期に発生 した病態		悪性新生物	心疾患（高血 圧性を除く）	脳血管疾患	脳血管疾患	脳血管疾患
	1		2	7	39	447	493
4	乳幼児突然死 症候群		その他の 新生物	脳血管疾患	自殺	肺炎	肺炎
	1		2	6	26	347	354
5			心疾患（高血 圧性を除く）	不慮の事故	肝疾患	老衰	老衰
			2	6	21	243	243

背景③

自殺者数(人口10万対)の推移



人口動態統計より(2007年～2011年)

全国、埼玉県よりも秩父保健所管内は自殺者が多い。秩父市は増加傾向。

- ・ 全国、埼玉県よりも秩父保健所管内は自殺者が多い。
- ・ 秩父市は増加傾向。



2009年度（平成21年度）から
秩父地域（秩父市・横瀬町・皆野町・長瀬町・
小鹿野町）で自殺予防対策の取り組みを実施。

過去の取組 1

地域住民を対象とした 認知症・うつ・自殺予防のための啓発

<講演会の開催>

<2009年度(平成21年度)から実施>



開催日：2012年2月16日
 テーマ：「死にたいなんて言われたら」
 講師：東京自殺防止センター
 創設者 西原 由記子氏

開催日	会議(回)	対象者
	参加人数(人)	
2010年3月6日 (H22. 3. 6)	7	高齢者 認知症関係者
	7 5 1	
2010年12月18日 (H22. 12. 18)	8	女性 子ども
	3 3 1	
2012年2月16日 (H24. 2. 16)	4	人事管理者 働く世代
	4 6 7	
2012年11月10日 (H24. 11. 10)	3	地域住民
	3 6 0	
2013年11月24日 (H25. 11. 24)	3	地域住民
	2 0 0	

過去の取組 2 関係機関との連携体制づくり

秩父地域自殺予防対策連絡会

(秩父市が招集し2011年度<平成23年度>設置)



2013年3月11日研修会

テーマ：「うつ病について」

講師：秩父中央病院

院長 内田 里華先生

年 1 回開催

<構成団体>

医療・保健・福祉・教育関係、
警察、消防、商工労働関係など
30団体

<内容>

- ・自殺の現状について情報共有
- ・2012年度(平成24年度)から自殺
予防フォーラム実行委員を選出
- ・研修会の開催

<定住自立圏事業へ移行>

2011年度(平成23年度)より、
ちちぶ定住自立圏事業に移行

セーフコミュニティ自殺予防対策委員会構成

(委員:秩父地域自殺予防対策連絡会の中から選任)



区分	構成団体名称等
医療	秩父郡市医師会
	秩父郡市歯科医師会
	秩父郡市薬剤師会
	秩父中央病院（精神科）
商工	秩父商工会議所
	西秩父商工会
	荒川商工会
社協	秩父市社会福祉協議会
福祉組織等	秩父市民生委員・児童委員協議会
	高齢者相談支援センター （秩父市在宅介護支援センター）
	秩父市障害者団体連絡協議会
警察	秩父警察署
	小鹿野警察署
消防	秩父消防本部
行政機関	秩父公共職業安定所
	秩父保健所
	秩父市保健センター

セーフコミュニティ自殺予防対策委員会の経過

回数	開催日	主な会議内容
第1回	2013年3月11日 (H25. 3. 11)	セーフコミュニティの概要説明
第2回	2013年9月18日 (H25. 9. 18)	セーフコミュニティの状況説明
第3回	2013年11月8日 (H25. 11. 8)	セーフコミュニティのスケジュール、 事前審査・本審査について説明
第4回	2014年3月14日 (H26. 3. 14)	重要課題と取り組みについて確認

※アンケート調査実施

内 容：「自殺予防対策として大切だと思うことや充実してもらいたいこと」

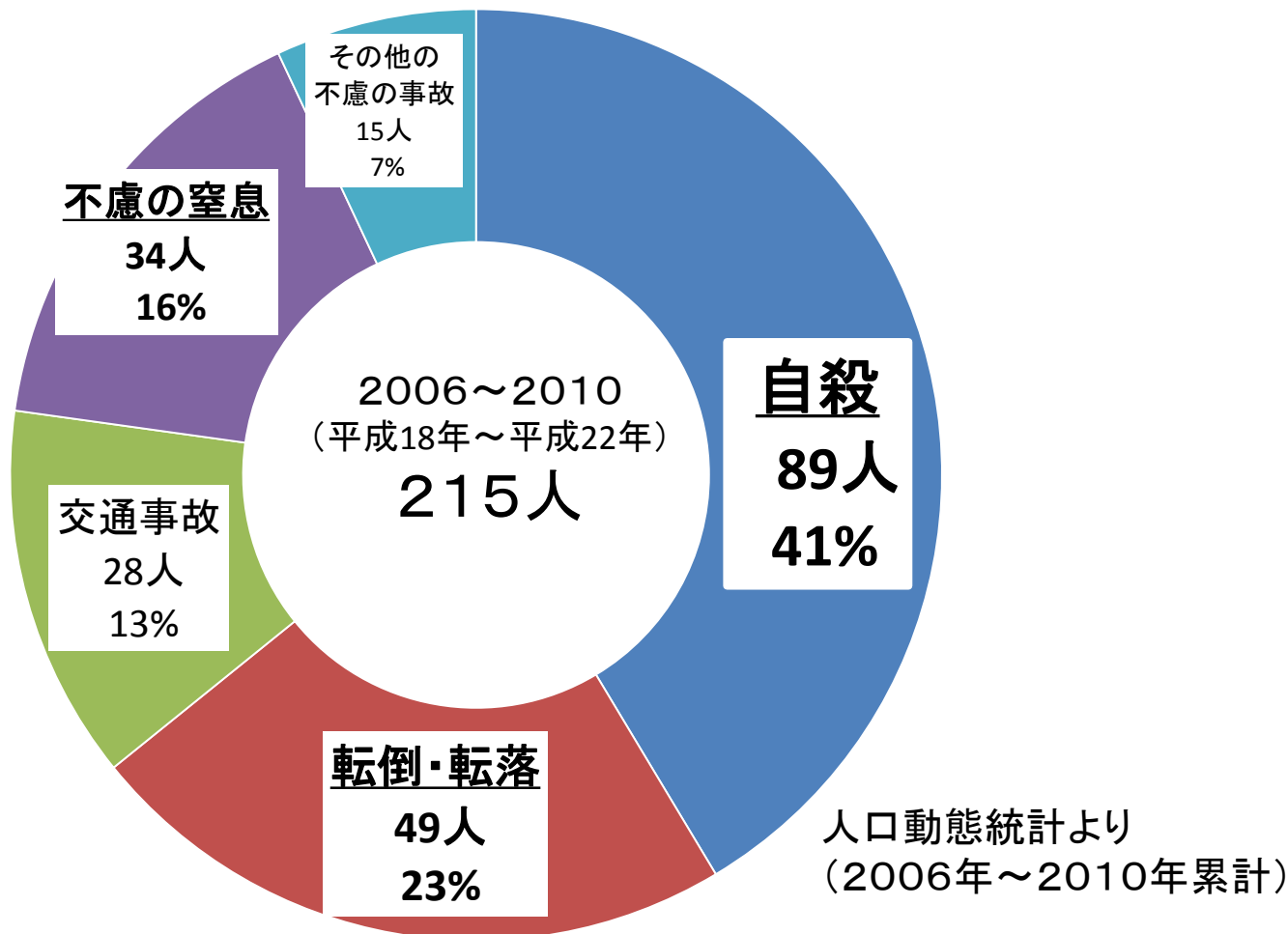
実施日：2012年11月10日、2013年11月24日

※本委員会母体である秩父地域自殺予防対策連絡会は、すでに自殺予防対策について取り組んでいた。

第2章

自殺の地域診断

図1

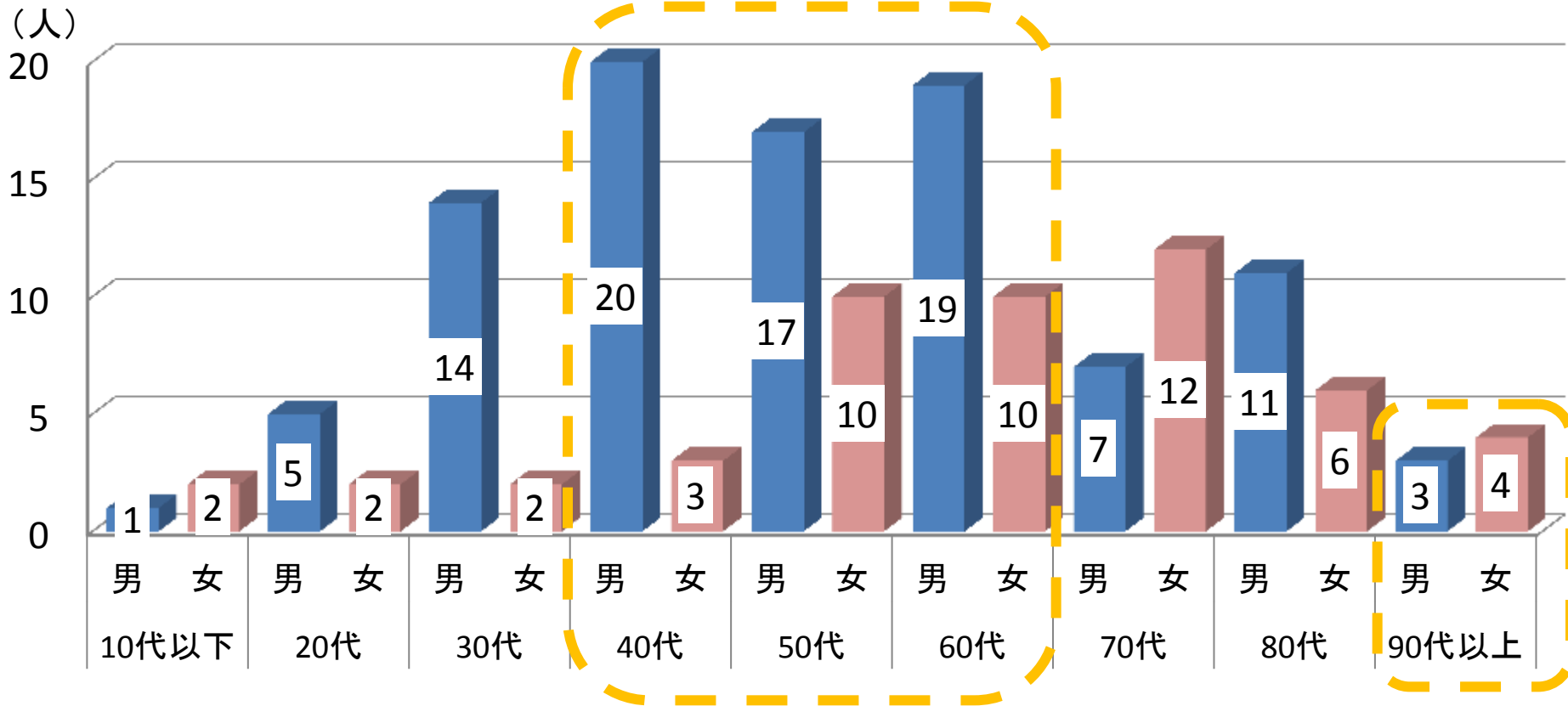


自殺による外因死が最も多い
次いで、転倒・転落、不慮の窒息と続く

データから見た客観的な危険 ②

年代別・男女別自殺者数(秩父市)

図2



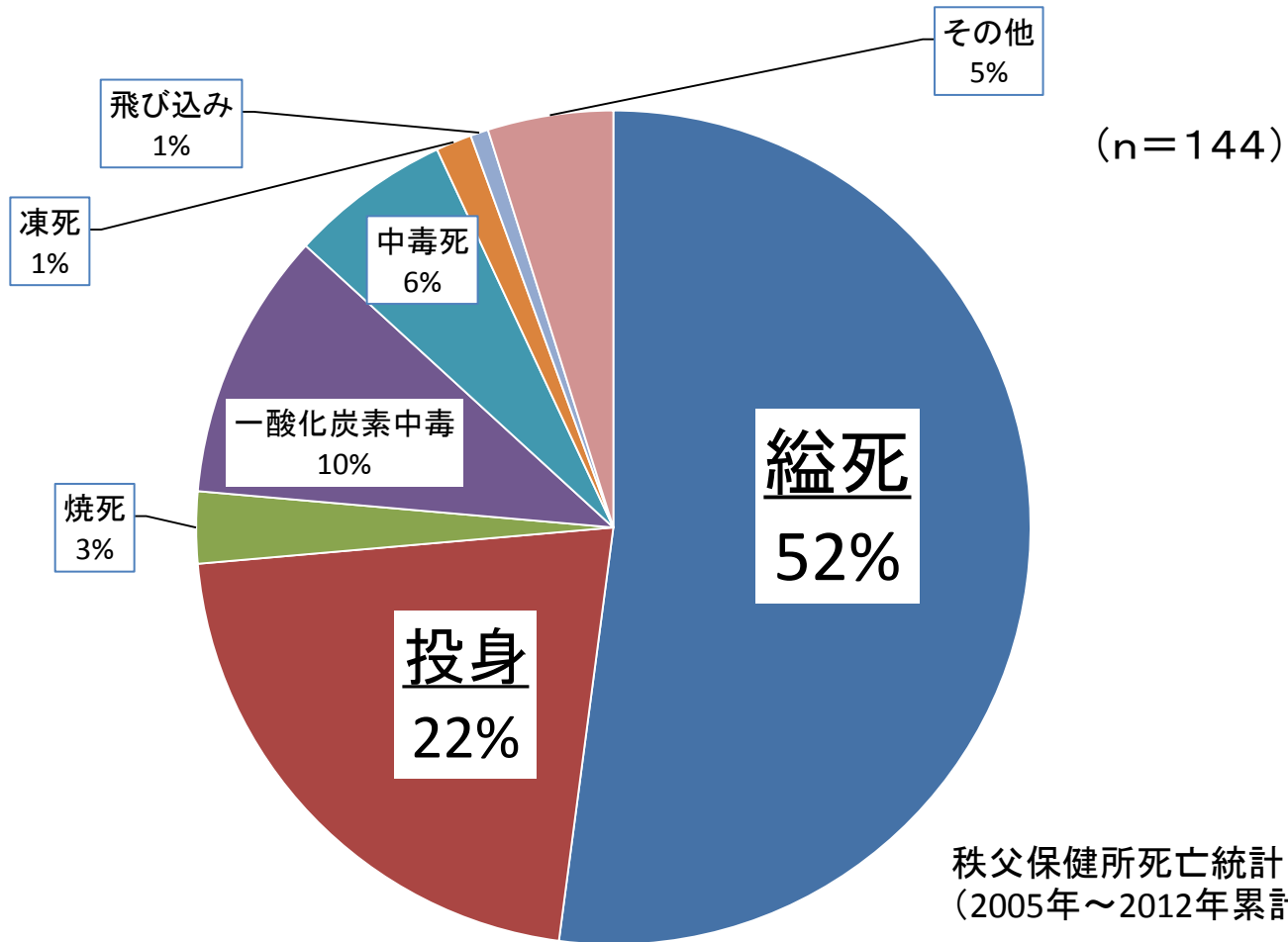
人口動態統計より(2005年～2012年累計)

40～60歳代の男性に自殺者が多い
90歳代以上の高齢者の自殺がある

データから見た客観的な危険 ③

自殺手段の割合（秩父市）

図3



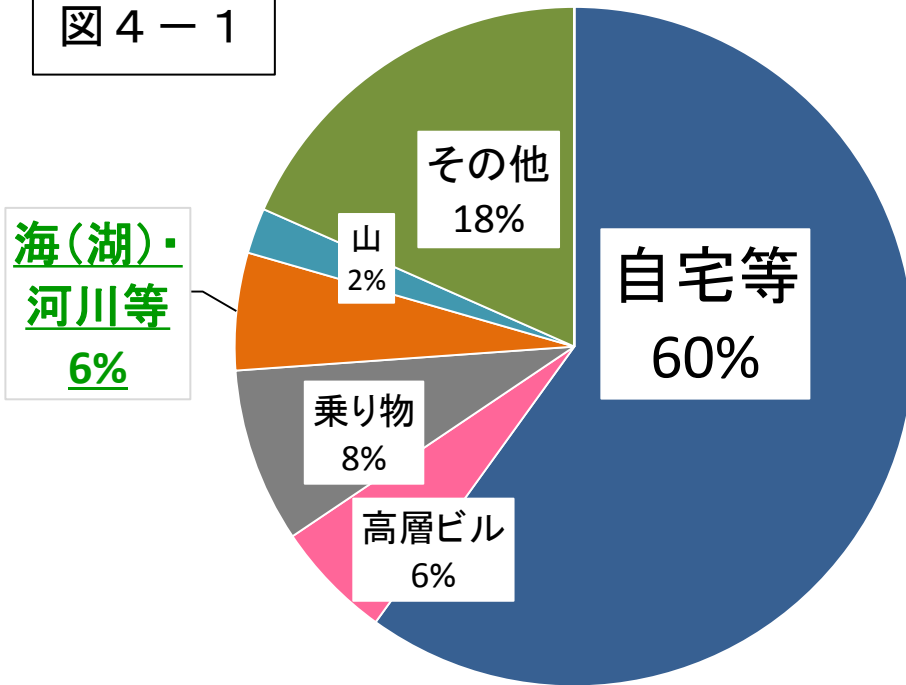
縊死が半数を占める
投身が22%で第2位

データから見た客観的な危険 ④

自殺場所の割合

＜埼玉県＞

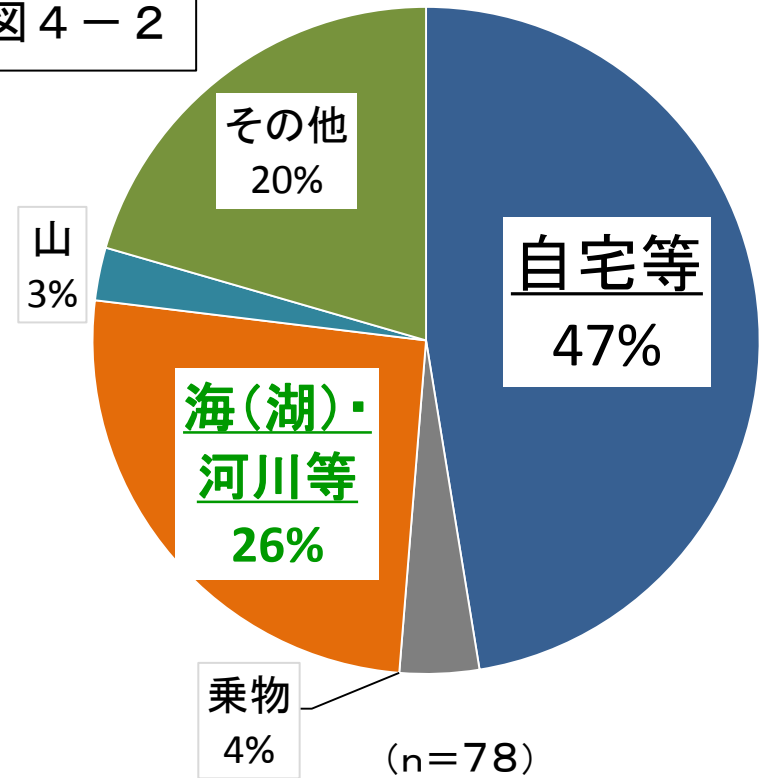
図4-1



(n=6553)

＜秩父市＞

図4-2



(n=78)

内閣府資料よりライフリンク編集 (2009年～2012年累計)

自宅等が最も多い
海(湖)・河川等が26%で第2位

データから見た客観的な危険 ⑤

同居人有無の割合(秩父市)

図5-1

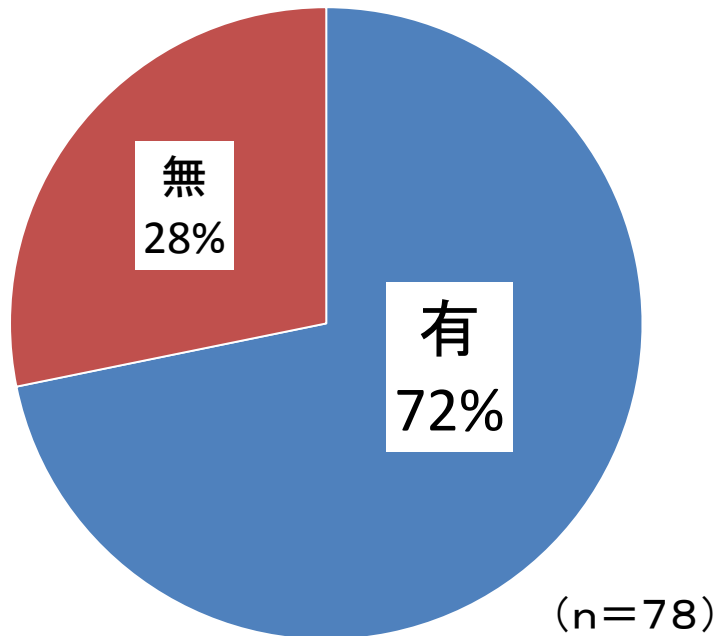
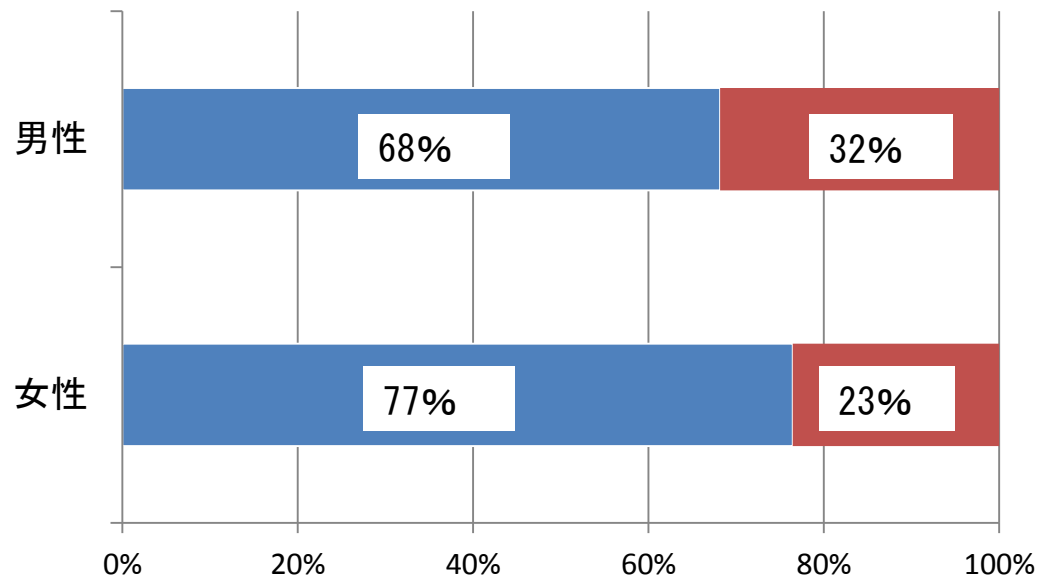


図5-2



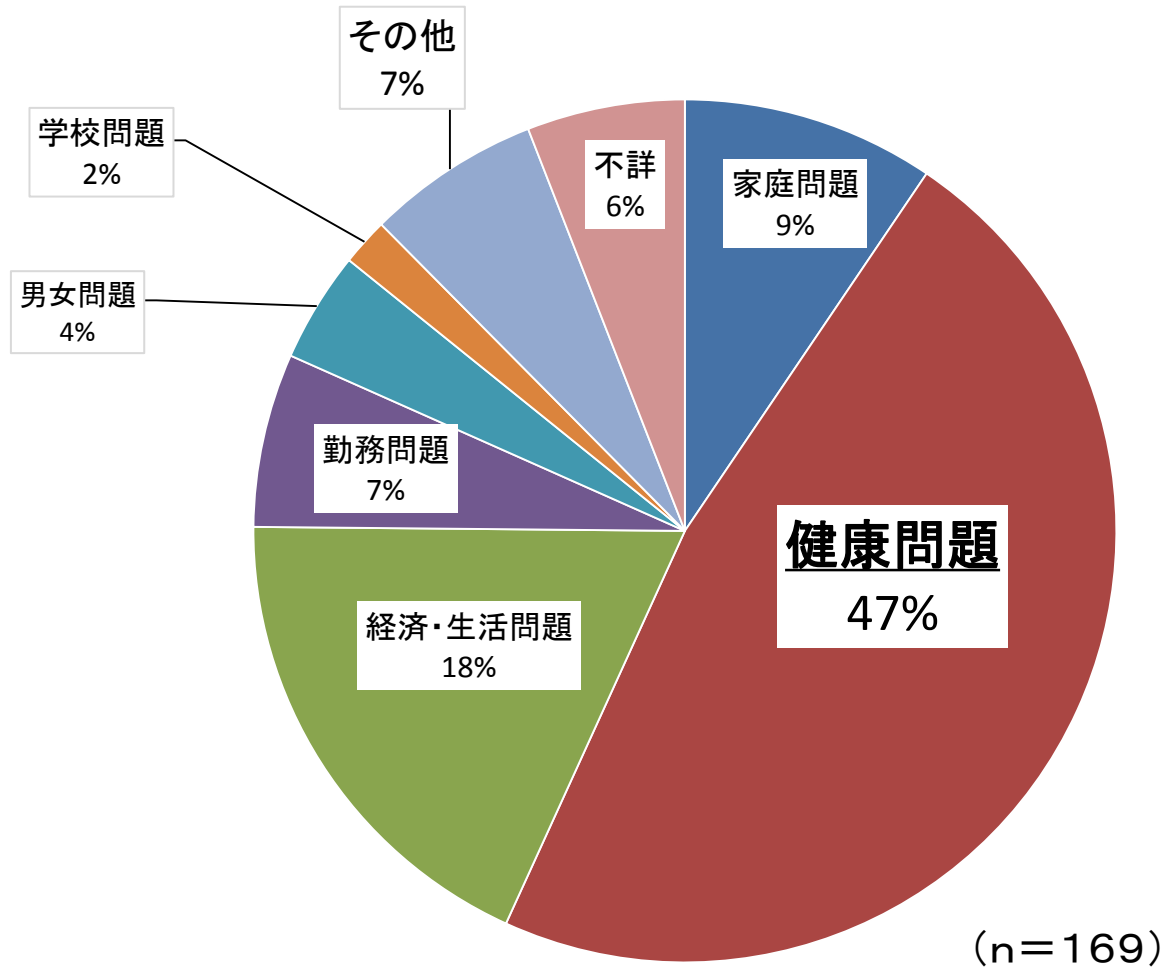
内閣府資料よりライフリンク編集(2009年～2012年累計)

同居人有が7割を占める

データから見た客観的な危険 ⑥

自殺原因-1(秩父市)

図 6

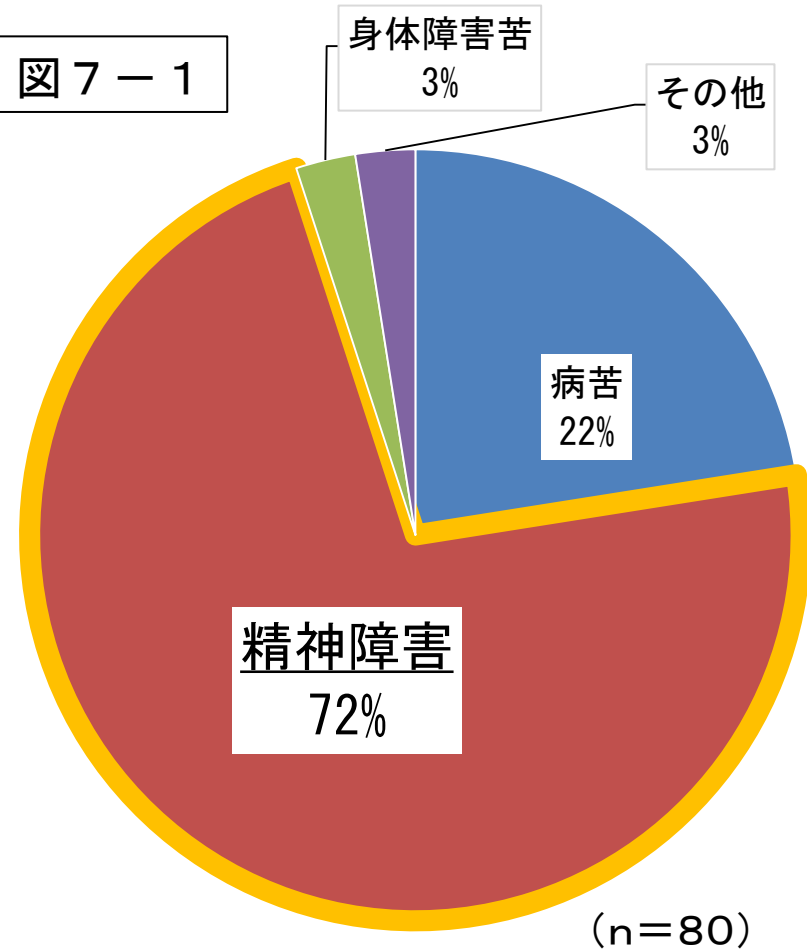


内閣府資料「自殺の基礎資料」より（2009年～2012年累計）

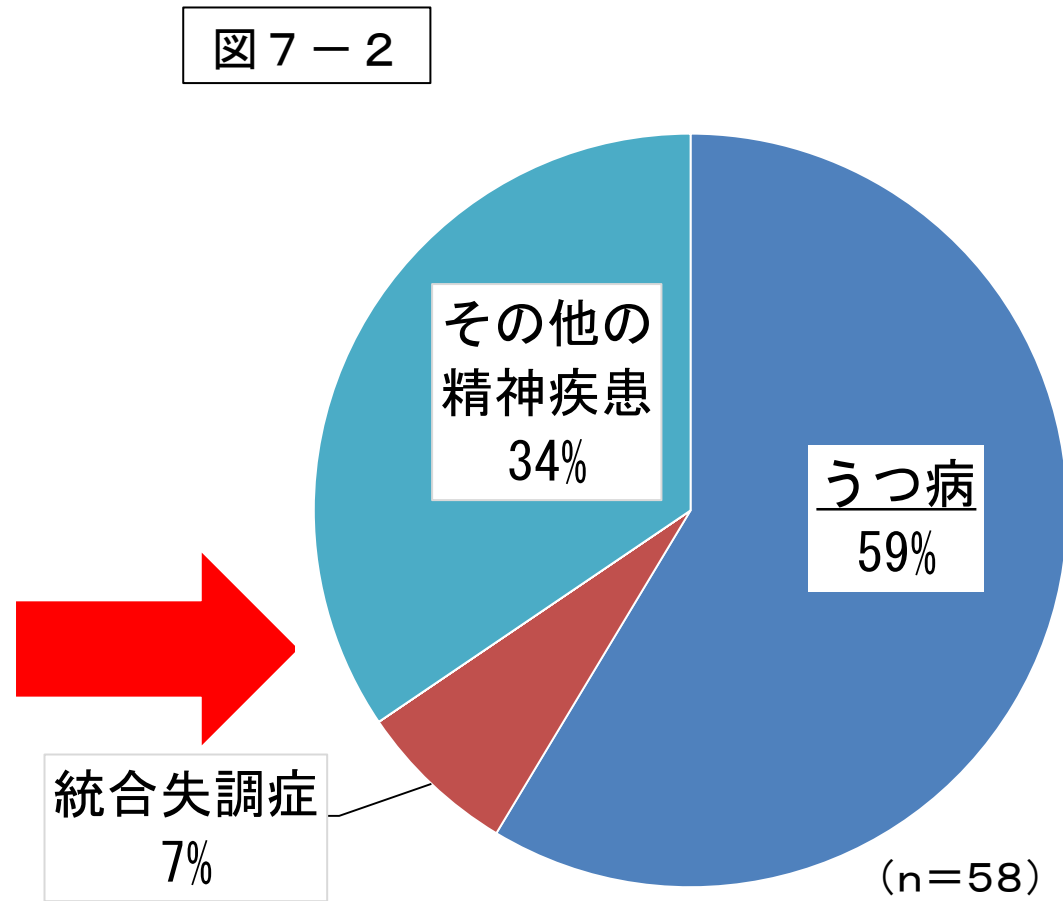
データから見た客観的な危険 ⑦

自殺原因-2(秩父市)

<健康問題の内訳>



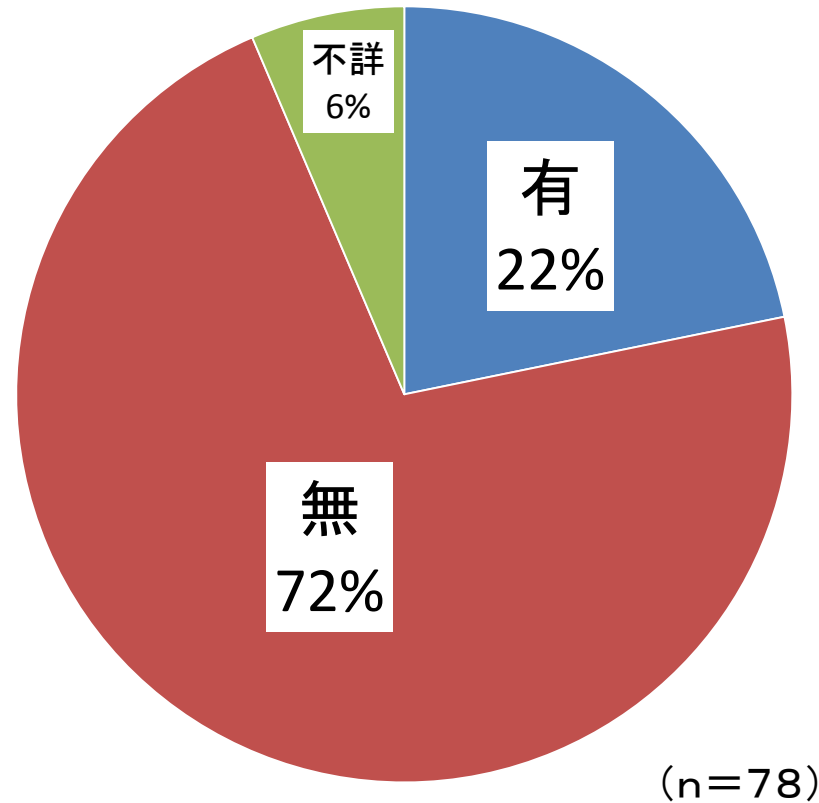
<精神障害の内訳>



データから見た客観的な危険 ⑧

自殺未遂歴の有無の割合（秩父市）

図 8



内閣府資料よりライフリンク編集（2009年～2012年累計）

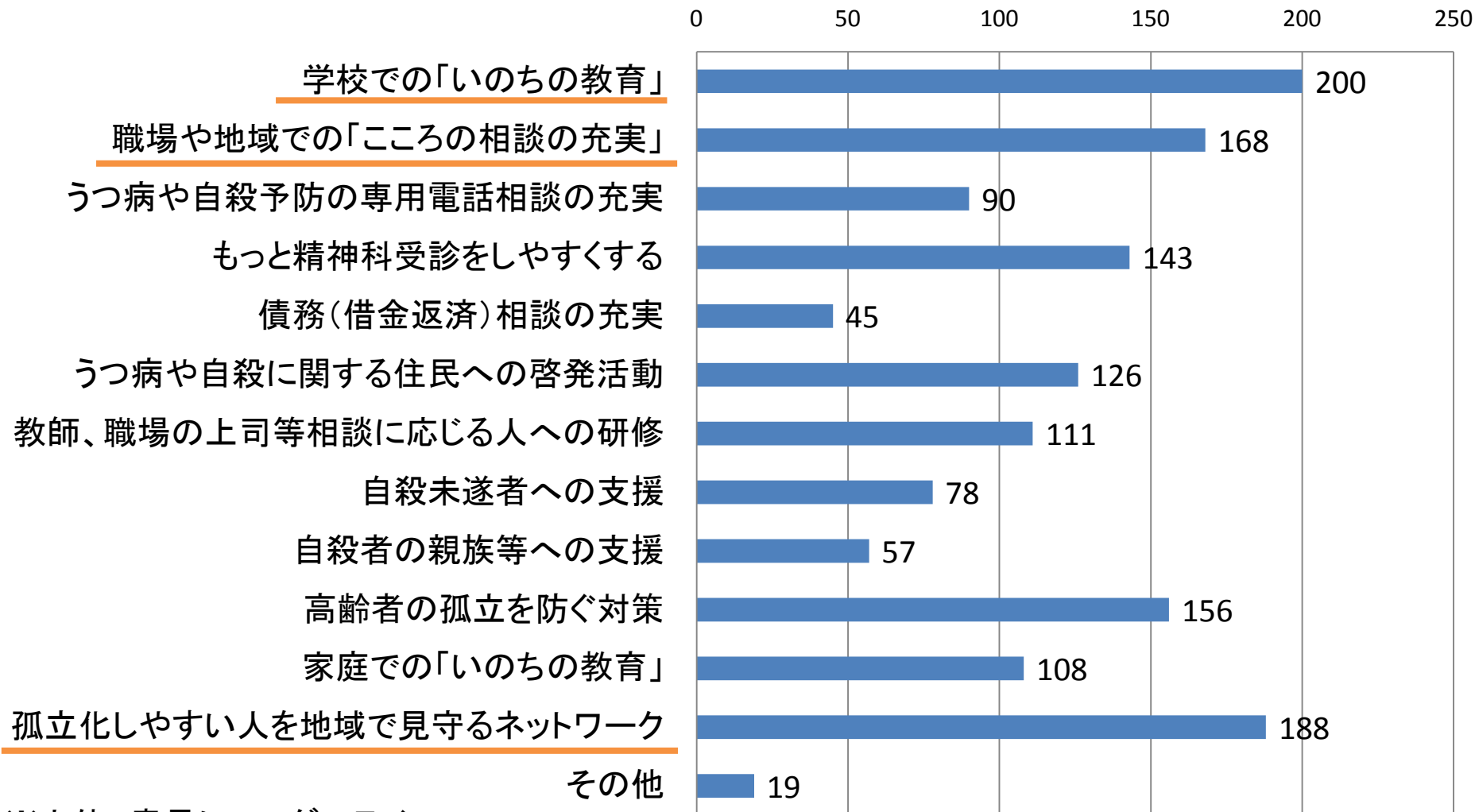
自殺未遂歴有が2割を超える

第3章

課題と取組の方向性

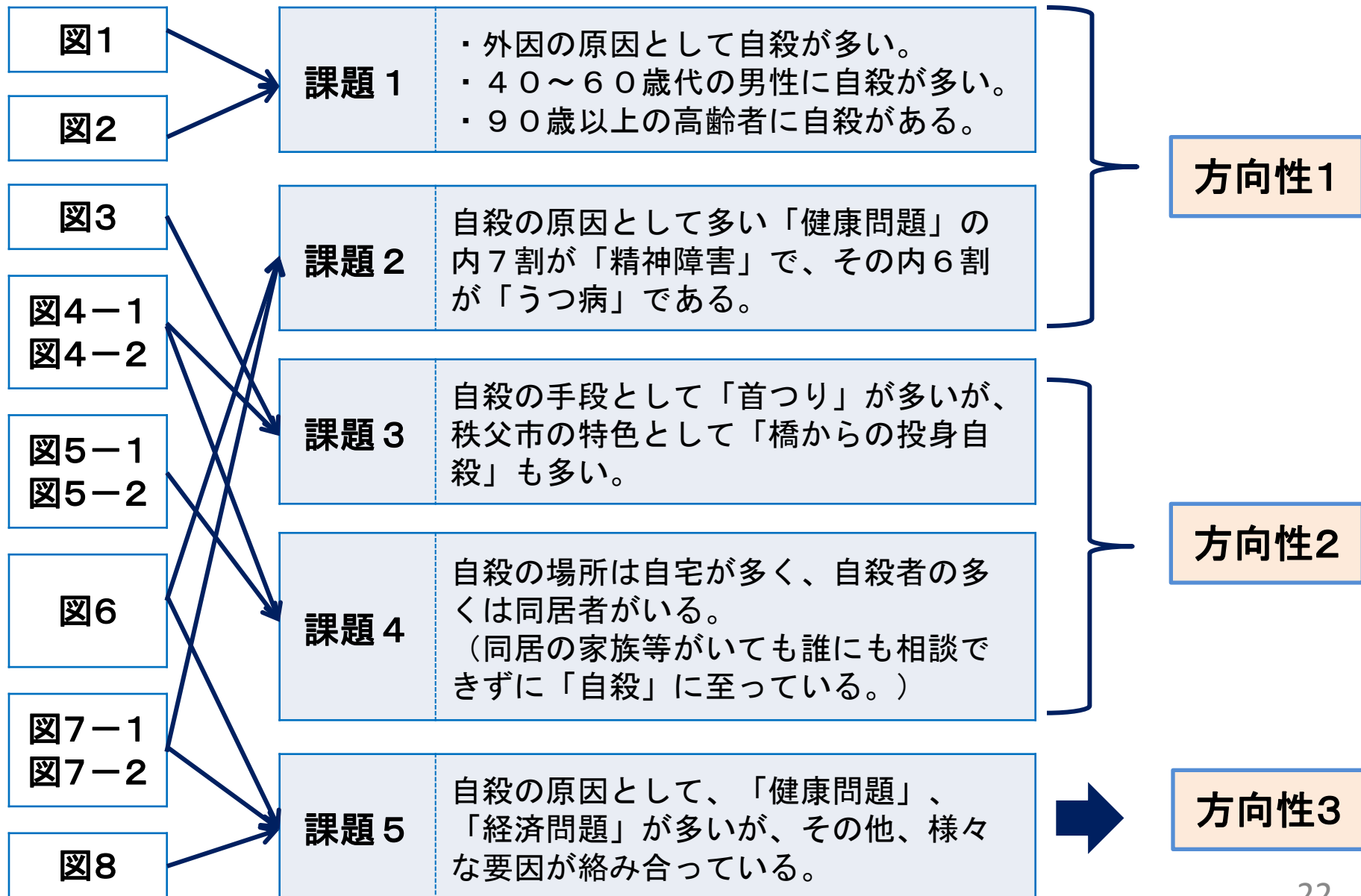
自殺予防フォーラムアンケートより 自殺予防対策として大切だと思うことは？

(n=470) 件

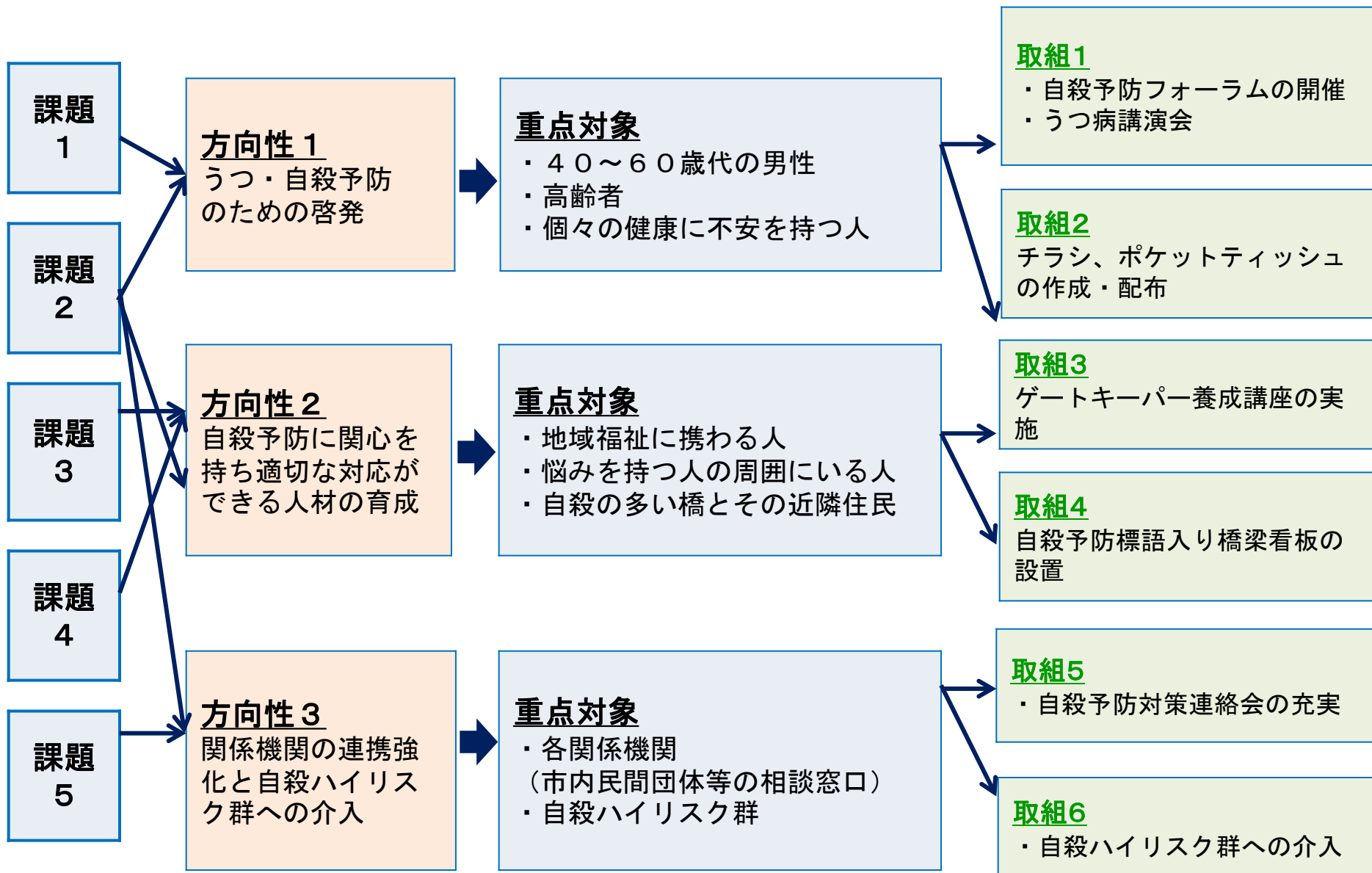


※上位3意見にアンダーライン

地域診断による課題の整理



課題・方向性・重点対象・取組の整理



方向性 1 ▶ うつ・自殺予防のための啓発

継続

取組2 クラシ・ポケットティッシュの作成・配布

ちょっと待って..



あなたを待っているひとがいる

心やからだの健康についての相談はこちらへ!
秩父市保健センター TEL 0494-22-0648
FAX 0494-22-5338

平成22年度【秩父地域「いのちの大切さ」に関する標語】 最優秀賞受賞作品
小学校低学年の部 おかあさんが さいしょにくれた たからもの 豊野小学校2年 宮澤 春希さん
小学校高学年の部 消さないで あなたの笑顔と その命 秩父小学校6年 藤原 聖人さん
中学校の部 親孝行 それは自分が 生きること 吉田中学校1年 岡部 沙紀さん

平成22年度埼玉県自殺対策緊急強化基金事業
秩父市保健センター

【秩父地域「いのちの大切さ」に関する標語】
中学校の部「最優秀賞」

親孝行 それは自分が 生きること

秩父市立吉田中学校1年「岡部 沙紀」さんの作品



心やからだの健康についての
相談はこちらへ!!

命を大切に! TEL 0494-22-0648
FAX 0494-22-5338

秩父市保健センター (平成22年度自殺対策緊急強化基金事業)

今後も継続して実施していく

方向性 2

自殺予防に関心を持ち
適切な対応ができる人材の育成

改善

取組3 ゲートキーパー養成講座の実施

2012年度より、民生委員・児童委員、健康推進員を対象にゲートキーパー養成講座を実施している。

(8回実施 253名養成)



今後も対象を拡大し実施していく

方向性 2

自殺予防に関心を持ち
適切な対応ができる人材の育成

継続

取組4 自殺予防標語入り看板の設置



地域住民が関心を持つことで
橋からの投身自殺を防ぐ

方向性 3

関係機関の連携強化と 自殺ハイリスク群への介入

改善

取組5 自殺予防対策連絡会との連携強化

医療・保健・福祉・教育関係、警察、消防、商工労働関係など
30団体で構成



- 自殺の現状についての情報を共有する。
- 自殺防止のため、相互に連携が図れるようにする。



自殺ハイリスク者や自殺未遂者についての情報を
収集・分析し、効果的な自殺予防対策を実施する。

取組6 自殺ハイリスク群への介入

① 自殺未遂者への介入

自殺者の2割に自殺未遂歴がある

(自殺未遂者は自殺者の10倍とも言われている)

② アルコール問題への介入

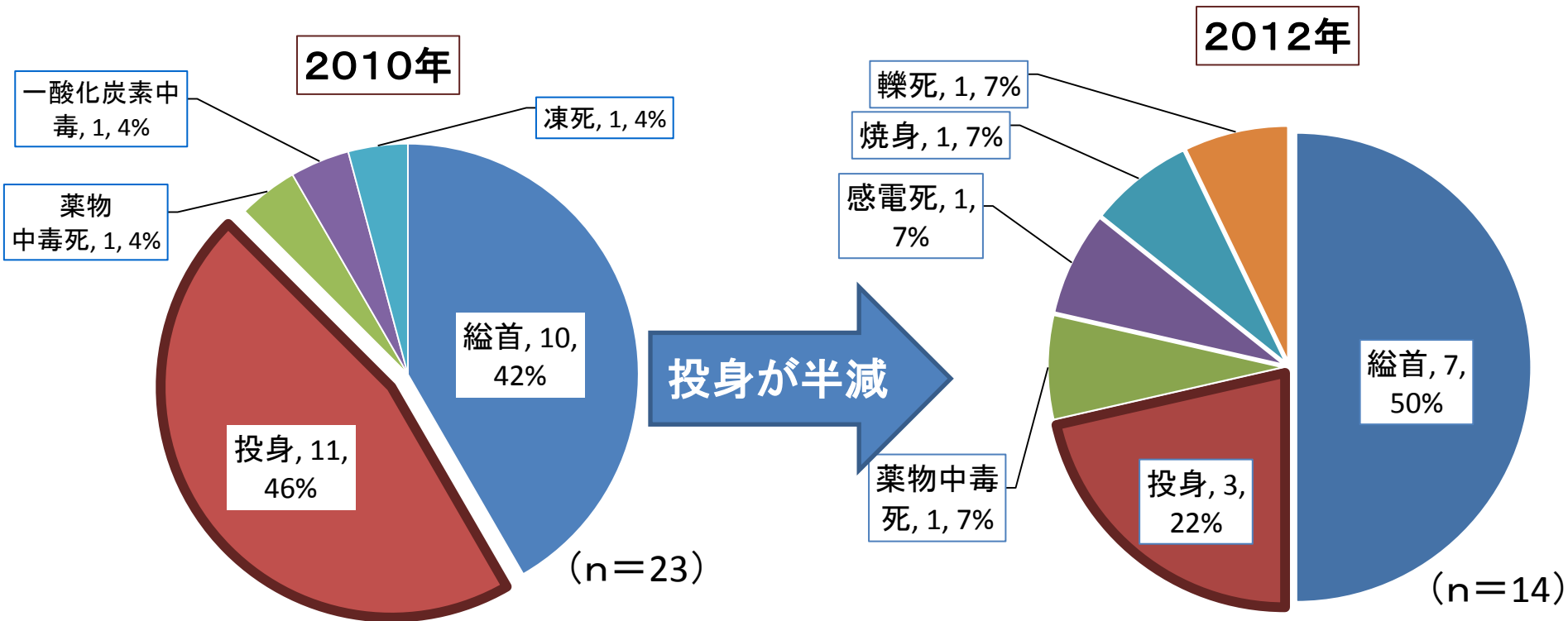
アルコール問題は自殺原因の健康問題、経済・生活問題に大きく関係する。

今までの取り組みの成果

成果 1

投身自殺が半減

自殺手段(秩父市)

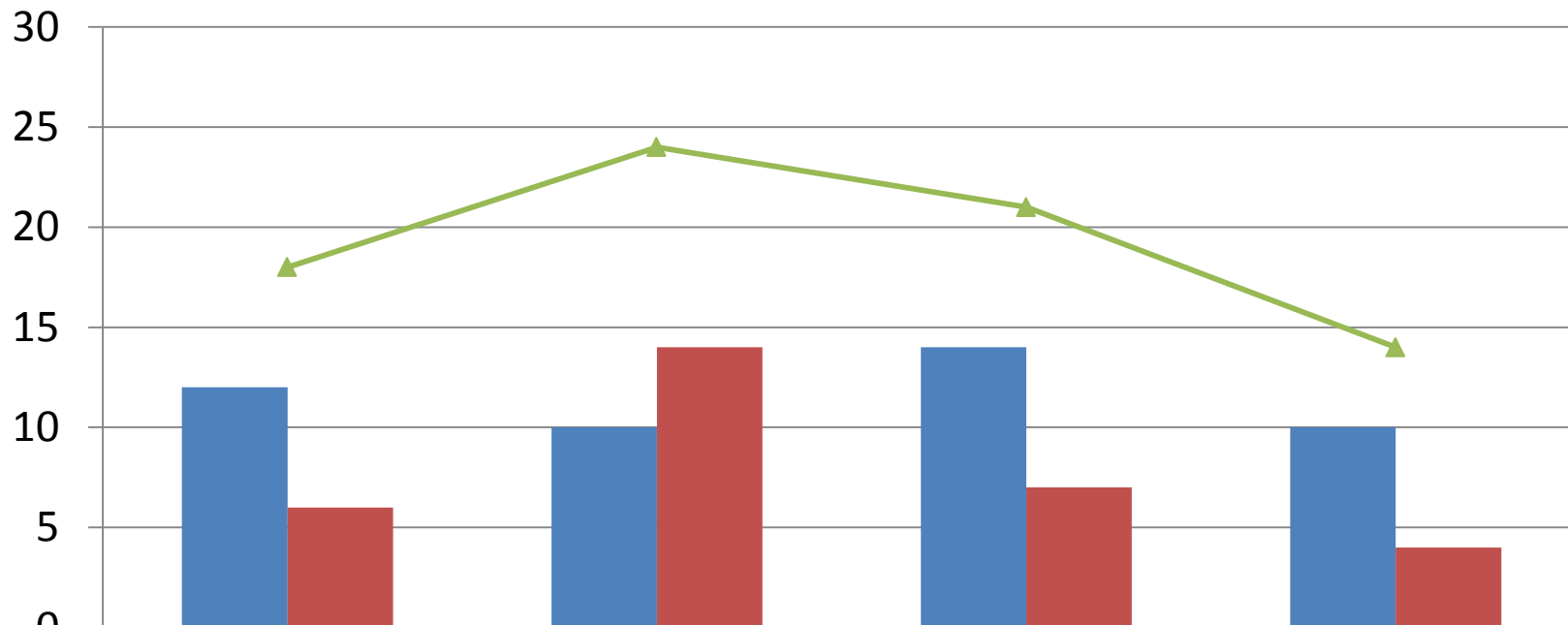


秩父保健所死亡統計(死亡小票)より

今後も投身自殺の多い橋について情報を収集し、
看板を設置する橋を増やしていく

年代別・男女別自殺者数（秩父市）

(人)



性別	2009年	2010年	2011年	2012年
男	12	10	14	10
女	6	14	7	4
合計	18	24	21	14

現時点での問題点・困難な点

- 自殺未遂者や自殺者に関するデータの分析が不十分。
- 首つり自殺を防ぐための対策が困難。
- 医療機関や関係相談機関との連携が図られていない。
- 自殺の原因の一つでもある経済問題の対応について「関係機関との連携」が図られていない。

～今後～

各取り組みを実施しながら、成果指標について検討していく。

グダ
し
注
消
聴
感

あ
い
か
が
と
う
グ
ダ
し
ま
し
た

秩父市セーフコミュニティ自殺予防対策委員会